

栃木県救急医療提供体制のあり方に関する検討委員会  
ワーキンググループB(第2回)

データ分析関係

日時:令和6(2024)年10月30日(木)9時30分~11時30分  
場所:栃木県庁北別館 会議室401

## これまでの検討委員会・ワーキンググループにおける御意見

### データ分析

いただいた御意見	対応
<ul style="list-style-type: none"><li>人口当たりの夜間休日の1次救急の受診者数や、軽症患者が2次・3次救急にどれだけ流れているかを把握する必要があるのではないか。</li></ul>	3～6スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>疾患別の現場滞在30分以上の救急搬送人員数のデータに関して、重症度の内訳を見る必要がある。その上で、本来2次救急が受け入れるべき患者だったのか、3次救急が受け入れるべき患者だったのか、はっきりさせることも大切ではないか。</li></ul>	8～12スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>データ分析について、高齢者は65歳以上ではなく、75歳以上もカウントしていく必要があるのではないか。さらに85歳以上となると、一般的には病院にも来ることができなくなる人が増えると言われており、そうした観点を踏まえながら再整理する必要があるのではないか。</li></ul>	14～18スライドのとおり

## 各休日夜間急患センターの救急患者数(2023年度)

- ▶ 救急患者数や高次の医療機関への紹介患者数は、休日夜間急患センターによって差がある。  
(休日夜間急患センターによって、診療日数や診療時間、診療科目等に違いがあることに留意)

救急医療圏	施設名	患者数(1次救急対応)			人口1万人当たりの患者数 (救急医療圏ごと)
		高次への紹介患者数	割合(高次/1次救急対応)		
宇都宮	宇都宮市夜間休日救急診療所	21,611	545	2.5%	421
鹿沼	鹿沼地区休日夜間急患診療所	2,180	44	2.0%	238
日光	日光市立休日急患こども診療所	1,182	15	1.3%	160
芳賀	真岡市休日夜間急患診療所	5,122	298	5.8%	379
栃木	栃木地区急患センター	5,457	110	2.0%	287
塩谷	塩谷地区夜間診療室(しおや)	55	0	0.0%	37
	塩谷地区夜間診療室(くろす)	361	3	0.8%	
那須	那須地区夜間急患診療所	1,825	42	2.3%	88
南那須	—	—	—	—	—
小山	小山地区夜間休日急患診療所	7,085	10	0.1%	253
両毛	佐野休日・夜間緊急診療所	11,826	168	1.4%	541
	足利市休日夜間急患診療所	1,856	84	4.5%	
県全体		58,560	1,319	2.3%	309

(出典)医療政策課調べ

# 【参考】初期救急医療の提供体制(平日 ※土曜日を含む)

再掲

休日夜間 急患センター	対応曜日	診療科目				診療時間帯																																							
		内	外	小	歯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23																
宇都宮市	月～土	○		○		■	■	■	■	■	■	■	平日日中																		■	■	■	■	■	■									
					○																																								
鹿沼市	月・水・金	○		○																																									
日光市	対応なし																																												
真岡市	月～土	○		○																																					■	■	■	■	
栃木市	月～土	○																																								■	■	■	
塩谷地区(しおや)	対応なし																																												
塩谷地区(くろす)	土	○		○																																						■	■	■	
那須地区	毎日	○		○																																						■	■	■	
小山地区	月～土	○		○																																						■	■	■	
佐野市	月～土	○		○																																						■	■	■	■
足利市	月～土	○		○																																						■	■	■	

(出典)県医療政策課調べ

# 【参考】初期救急医療の提供体制(日・祝休日 ※土曜日を除く)

再掲

休日夜間 急患センター	対応曜日	診療科目				診療時間帯																											
		内	外	小	歯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23				
宇都宮市	日・祝休日	○		○		■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■
					○																												
鹿沼市		○		○												■	■		■	■	■	■	■			■	■	■	■				
					○																												
日光市				○											■	■			■	■	■	■			■	■	■	■					
真岡市		○		○											■	■	■		■	■	■	■			■	■	■	■					
栃木市		○													■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
			○												■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
				○																					■	■	■	■					
塩谷地区(しおや)		○		○																				■	■	■	■						
塩谷地区(くろす)		○		○																				■	■	■	■						
那須地区		○		○																				■	■	■	■						
小山地区		○		○										■	■		■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
		○		○										■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
佐野市			○											■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
					○									■	■	■	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■					
足利市		○		○												■	■	■	■	■	■			■	■	■	■						
					○											■	■	■							■	■	■	■					

(出典)県医療政策課調べ

## 2次(輪番)・3次救急病院における救急患者数(2023年度)

➤ 2次(輪番)・3次救急病院で受け入れた救急患者のうち、3分の2は入院を要しない患者である。

No	救急医療圏	病院名	救急患者数				うち 入院患者数		うち 非入院患者数		医療圏ごとの救急患者受入数		
			救急車	割合	救急車以外	割合		割合		割合		割合	
1	宇都宮	済生会宇都宮病院	14,973	8,799	59%	6,174	41%	4,958	33%	10,015	67%	33,748	44%
2		NHO栃木医療センター	6,276	4,480	71%	1,796	29%	2,471	39%	3,805	61%		19%
3		JCHOうつのみや病院	3,834	1,837	48%	1,997	52%	1,036	27%	2,798	73%		11%
4		NHO宇都宮病院	2,525	1,323	52%	1,202	48%	1,184	47%	1,341	53%		7%
5		宇都宮記念病院	6,140	3,315	54%	2,825	46%	1,608	26%	4,532	74%		18%
6	鹿沼	上都賀総合病院	6,493	2,344	36%	4,149	64%	2,256	35%	4,237	65%	73%	
7		御殿山病院	1,144	694	61%	450	39%	305	27%	839	73%	8,898	13%
8		西方病院	1,261	466	37%	795	63%	239	19%	1,022	81%	14%	
9	日光	今市病院	2,795	1,276	46%	1,519	54%	651	23%	2,144	77%	32%	
10		日光市民病院	1,558	193	12%	1,365	88%	288	18%	1,270	82%	8,657	18%
11		獨協医科大学日光医療センター	4,304	1,773	41%	2,531	59%	1,206	28%	3,098	72%	50%	
12	芳賀	芳賀赤十字病院	8,659	4,203	49%	4,456	51%	3,317	38%	5,342	62%	8,659	100%
13	栃木	獨協医科大学病院	8,975	4,106	46%	4,869	54%	2,440	27%	6,535	73%	15,063	60%
14		とちぎメディカルセンターしもつが	6,088	3,864	63%	2,224	37%	2,042	34%	4,046	66%	40%	
15	南那須	那須南病院	3,454	1,369	40%	2,085	60%	742	21%	2,712	79%	3,454	100%
16	塩谷	国際医療福祉大学塩谷病院	2,509	1,053	42%	1,456	58%	573	23%	1,936	77%	5,038	50%
17		黒須病院	2,529	833	33%	1,696	67%	523	21%	2,006	79%	50%	
18	那須	那須赤十字病院	7,305	3,823	52%	3,482	48%	3,444	47%	3,861	53%	21,823	33%
19		菅間記念病院	4,935	2,356	48%	2,579	52%	1,326	27%	3,609	73%	23%	
20		那須中央病院	1,768	591	33%	1,177	67%	559	32%	1,209	68%	8%	
21		国際医療福祉大学病院	7,815	3,325	43%	4,490	57%	1,914	24%	5,901	76%	36%	
22	小山	自治医科大学附属病院	9,772	4,237	43%	5,535	57%	4,804	49%	4,968	51%	24,178	40%
23		新小山市民病院	8,273	4,796	58%	3,477	42%	3,155	38%	5,118	62%	34%	
24		石橋総合病院	3,145	1,453	46%	1,692	54%	250	8%	2,895	92%	13%	
25		小金井中央病院	1,549	732	47%	817	53%	379	24%	1,170	76%	6%	
26	両毛	光南病院	1,439	481	33%	958	67%	203	14%	1,236	86%	6%	
27		足利赤十字病院	11,407	5,342	47%	6,065	53%	4,010	35%	7,397	65%	20,764	55%
28		佐野厚生総合病院	9,357	3,750	40%	5,607	60%	3,093	33%	6,264	67%	45%	
			150,282	72,814	48%	77,468	52%	48,976	33%	101,306	67%	150,282	

(出典)医療政策課調べ

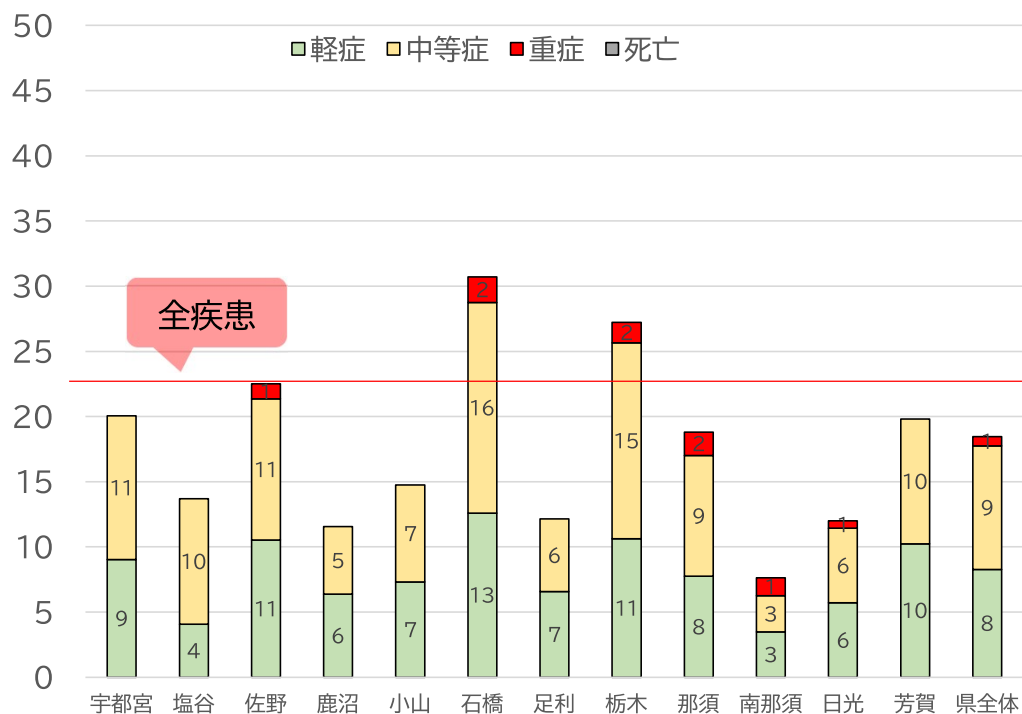
## これまでの検討委員会・ワーキンググループにおける御意見

### データ分析

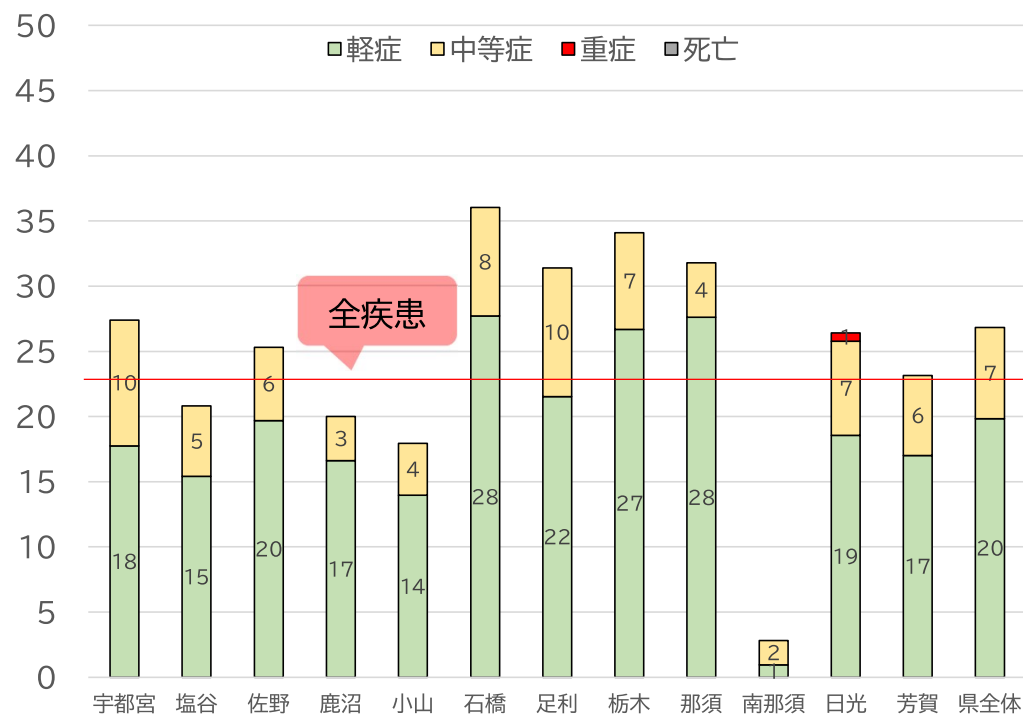
いただいた御意見	対応
<ul style="list-style-type: none"><li>人口当たりの夜間休日の1次救急の受診者数や、軽症患者が2次・3次救急にどれだけ流れているかを把握する必要があるのではないか。</li></ul>	3～6スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>疾患別の現場滞在30分以上の救急搬送人員数のデータに関して、重症度の内訳を見る必要がある。その上で、本来2次救急が受け入れるべき患者だったのか、3次救急が受け入れるべき患者だったのか、はっきりさせることも大切ではないか。</li></ul>	8～12スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>データ分析について、高齢者は65歳以上ではなく、75歳以上もカウントしていく必要があるのではないか。さらに85歳以上となると、一般的には病院にも来ることができなくなる人が増えると言われており、そうした観点を踏まえながら再整理する必要があるのではないか。</li></ul>	14～18スライドのとおり

# 各地域における疾患別・重症度別の現場滞在30分以上の搬送人員割合(2022年)

➤ 【消化器系】、【打撲・血腫】ともに、主に軽症や中等症の患者が搬送困難となる割合が高い。



消化器系



打撲・血腫

【単位:%】

※不搬送及び転院搬送を除く。

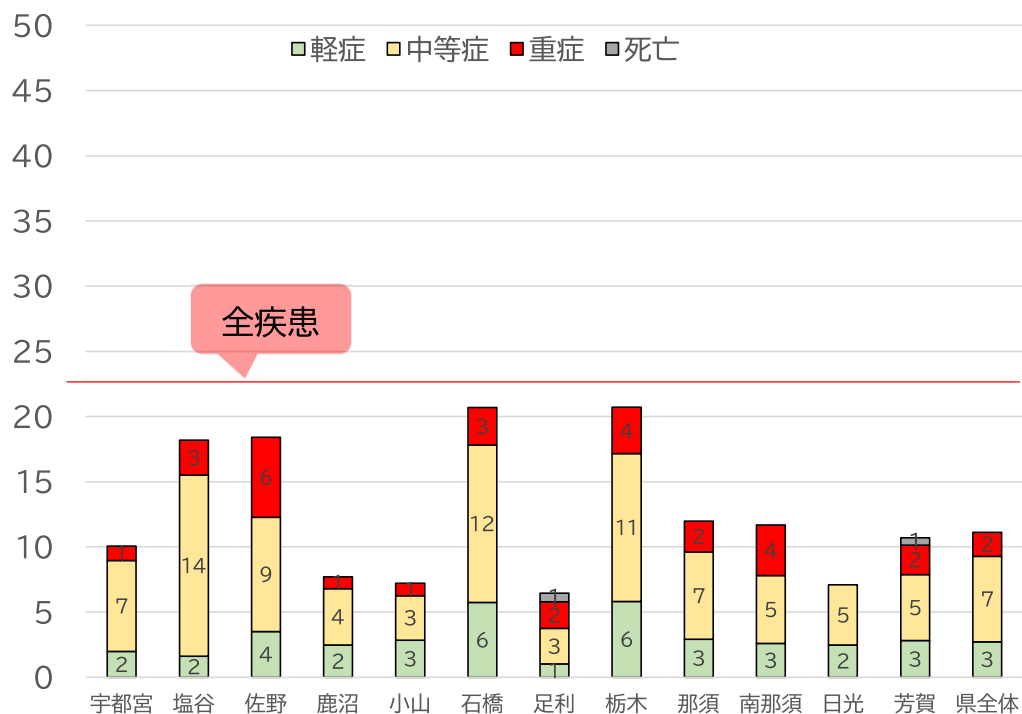
※救急搬送が多い疾患の上位10位について比較

(出典)救急搬送データから作成

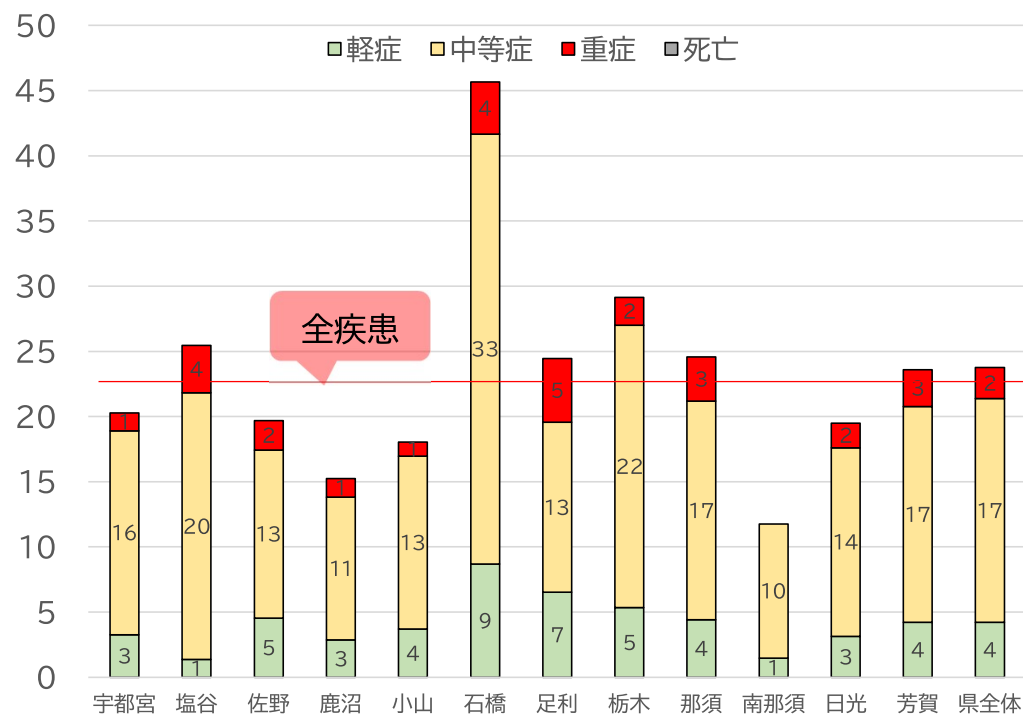


# 各地域における疾患別・重症度別の現場滞在30分以上の搬送人員割合(2022年)

- 【循環器系(心疾患)】は、疾患全体で見ると搬送困難となる割合は低いが、重症の患者も一定割合が搬送困難となっている。
- 【呼吸器系】は、中等症の患者が搬送困難となる割合が高い。



循環器系(心疾患)



呼吸器系

【単位:%】

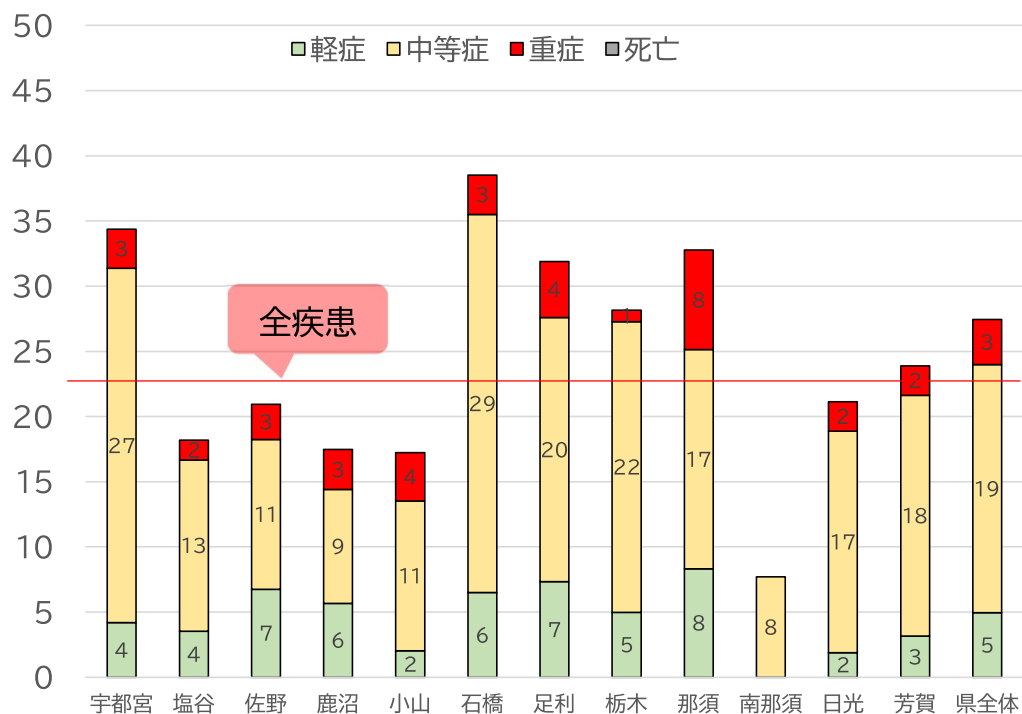
※不搬送及び転院搬送を除く

※救急搬送が多い疾患の上位10位について比較

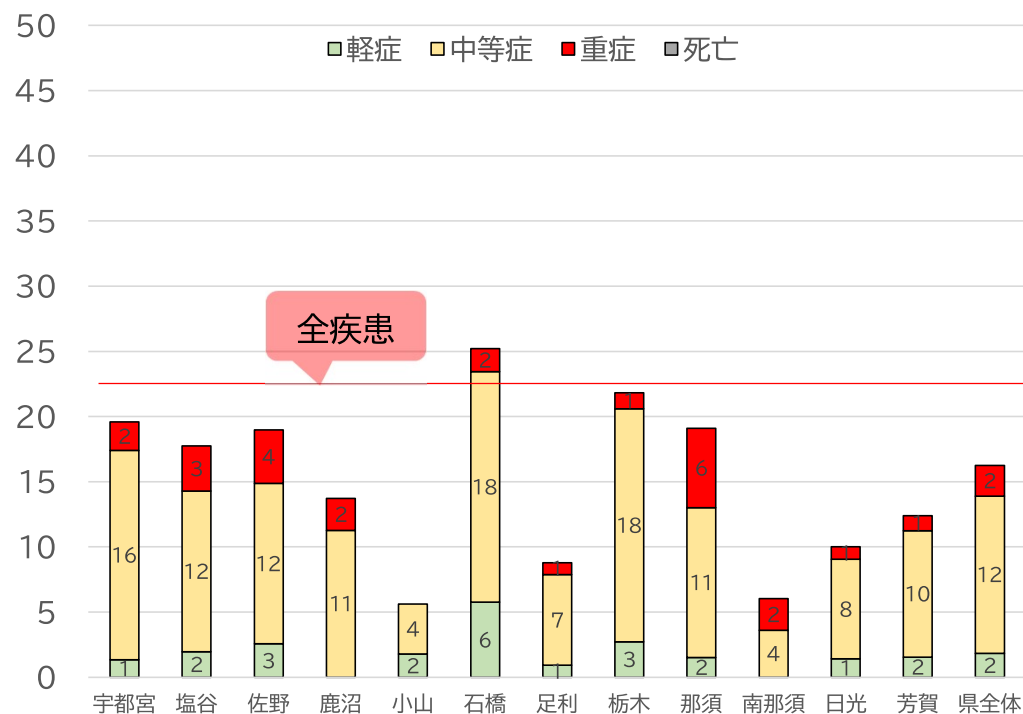
(出典)救急搬送データから作成

# 各地域における疾患別・重症度別の現場滞在30分以上の搬送人員割合(2022年)

- 【非開放性骨折】は、中等症や重症の患者が搬送困難となる割合が高い。
- 【循環器系(脳疾患)】は、疾患全体で見ると搬送困難となる割合は低い、重症の患者も一定割合が搬送困難となっている。



非開放性骨折



循環器系(脳疾患)

【単位:%】

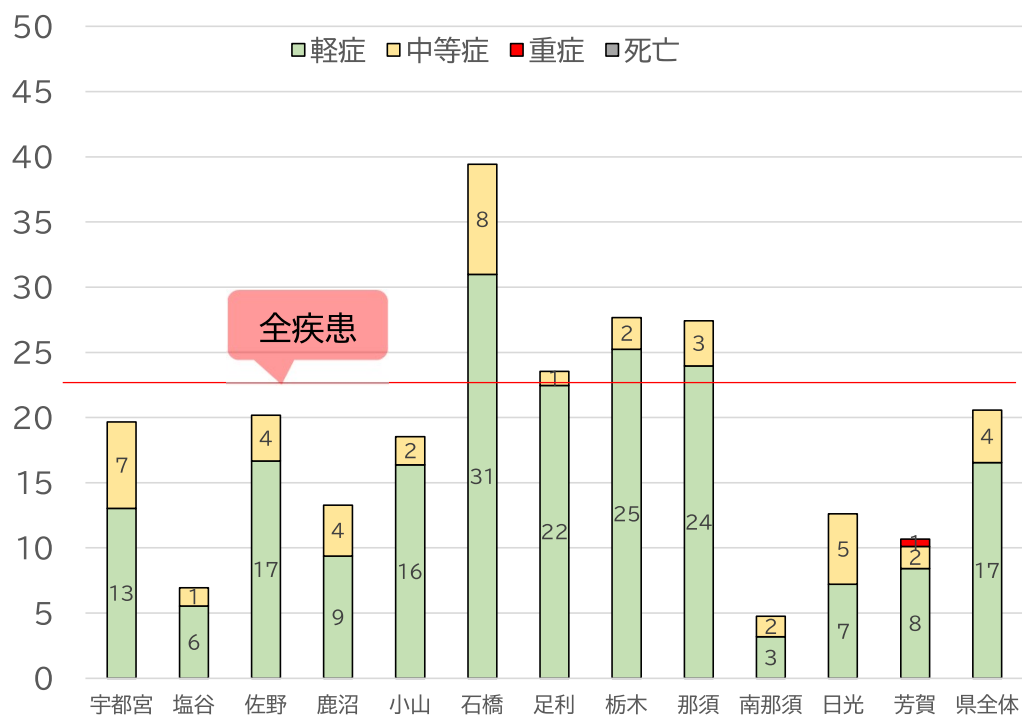
※不搬送及び転院搬送を除く

※救急搬送が多い疾患の上位10位について比較

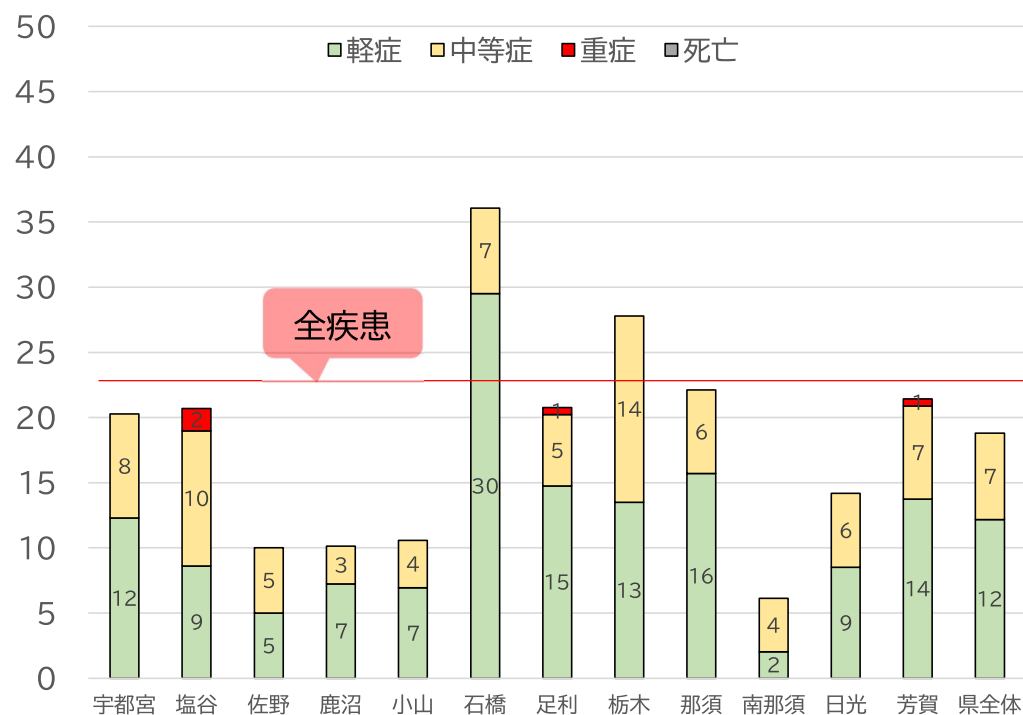
(出典)救急搬送データから作成

# 各地域における疾患別・重症度別の現場滞在30分以上の搬送人員割合(2022年)

➤ 【挫創】、【感覚系】ともに、主に軽症や中等症の患者が搬送困難となる割合が高い。



挫創



感覚系

【単位:%】

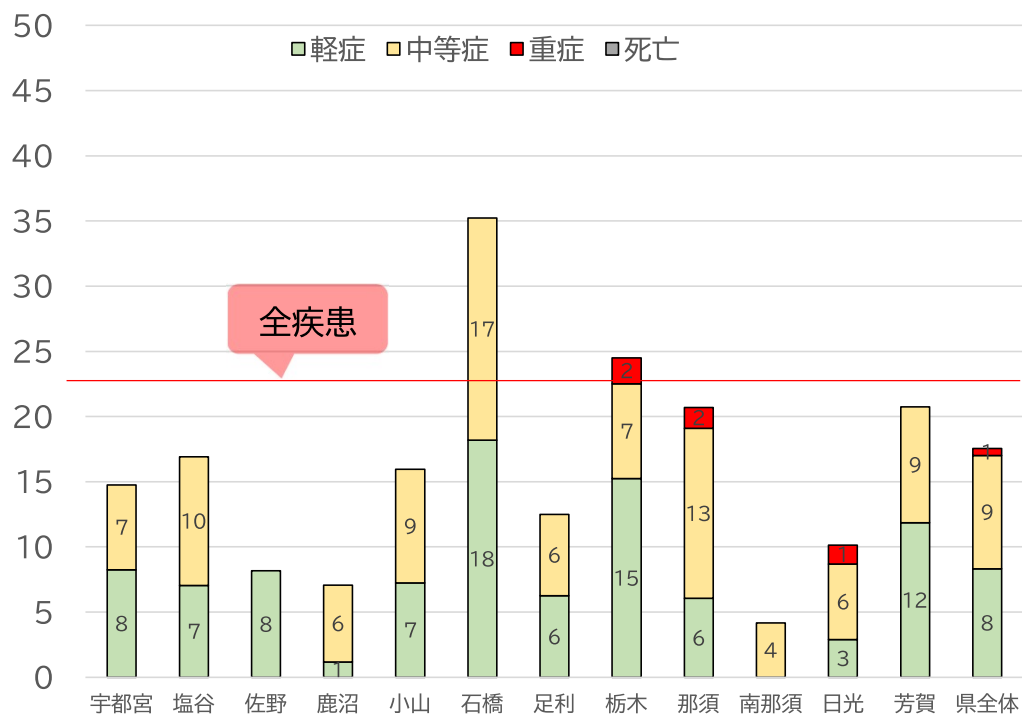
※不搬送及び転院搬送を除く

※救急搬送が多い疾患の上位10位について比較

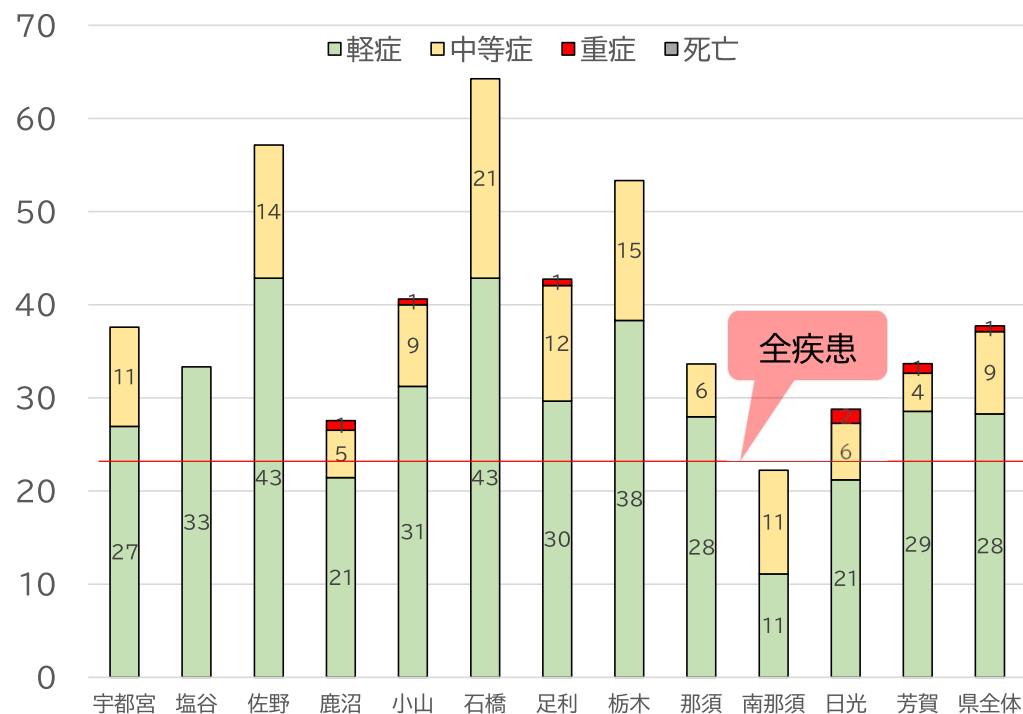
(出典)救急搬送データから作成

# 各地域における疾患別・重症度別の現場滞在30分以上の搬送人員割合(2022年)

- 【泌尿器系】、【精神系】ともに、主に軽症や中等症の患者が搬送困難となる割合が高い。
- 【精神系】は他の疾患と比べ、特に搬送困難となる割合が高い。



泌尿器系



精神系

【単位:%】

※不搬送及び転院搬送を除く

※救急搬送が多い疾患の上位10位について比較

(出典)救急搬送データから作成

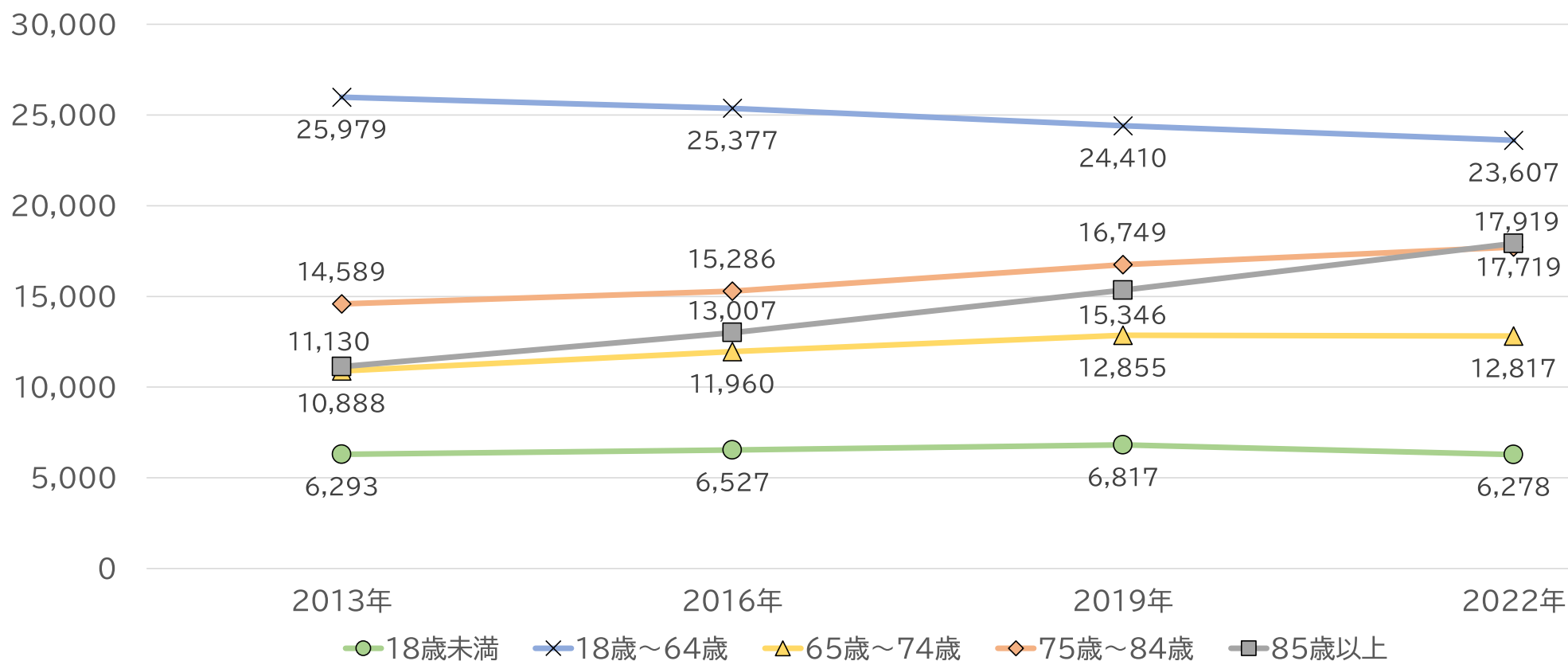
## これまでの検討委員会・ワーキンググループにおける御意見

### データ分析

いただいた御意見	対応
<ul style="list-style-type: none"><li>人口当たりの夜間休日の1次救急の受診者数や、軽症患者が2次・3次救急にどれだけ流れているかを把握する必要があるのではないか。</li></ul>	3～6スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>疾患別の現場滞在30分以上の救急搬送人員数のデータに関して、重症度の内訳を見る必要がある。その上で、本来2次救急が受け入れるべき患者だったのか、3次救急が受け入れるべき患者だったのか、はっきりさせることも大切ではないか。</li></ul>	8～12スライドのとおり
<ul style="list-style-type: none"><li>データ分析について、高齢者は65歳以上ではなく、75歳以上もカウントしていく必要があるのではないか。さらに85歳以上となると、一般的には病院にも来ることができなくなる人が増えると言われており、そうした観点を踏まえながら再整理する必要があるのではないか。</li></ul>	14～18スライドのとおり

## 年齢区分別の救急搬送人員数の推移(3年ごと)

- ▶ 75歳以上の高齢者の救急搬送が増加している(特に85歳以上の高齢者の救急搬送が大きく増加している。)
- ▶ 小児及び成人の搬送は概ね横ばいである。

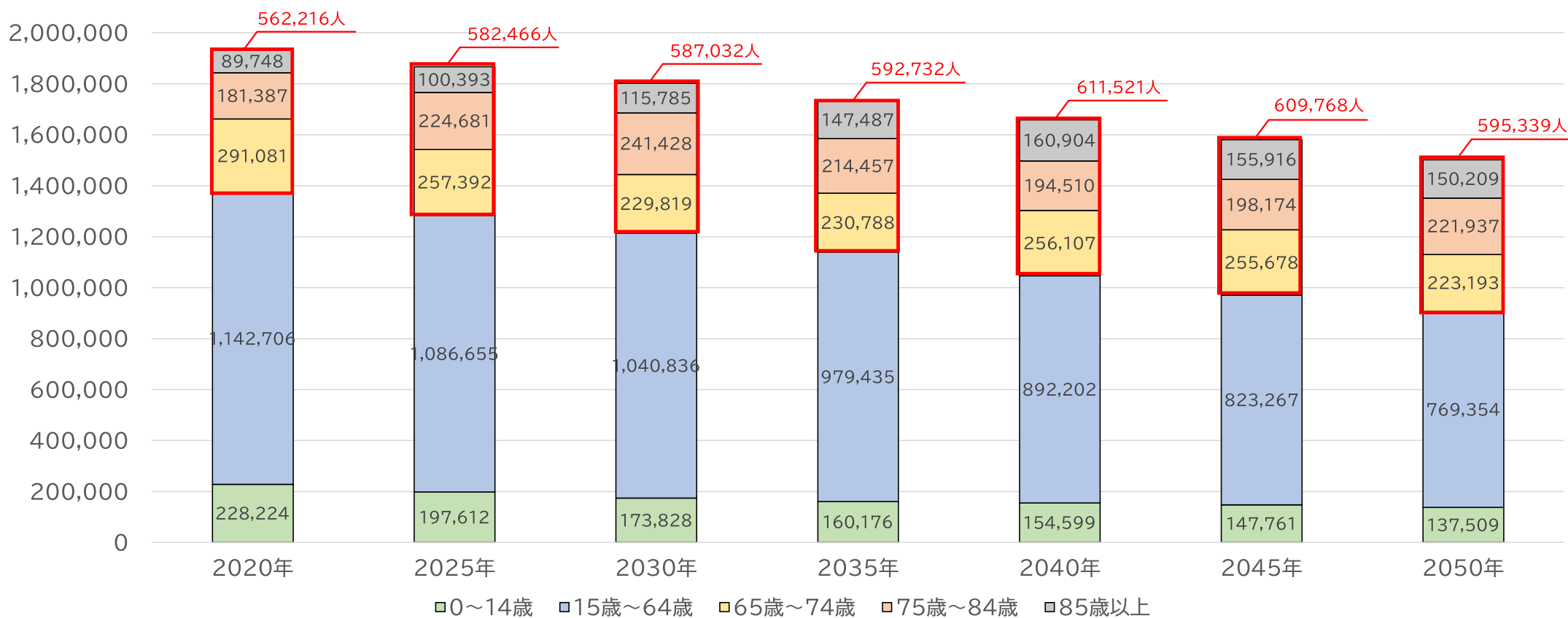


【単位:人】

(出典)救急搬送データから作成

# 本県の年齢別の将来人口の推計

▶ 県全体の人口が減少していく中、2040年以降は65歳以上の高齢者の数も減少する見込みである。

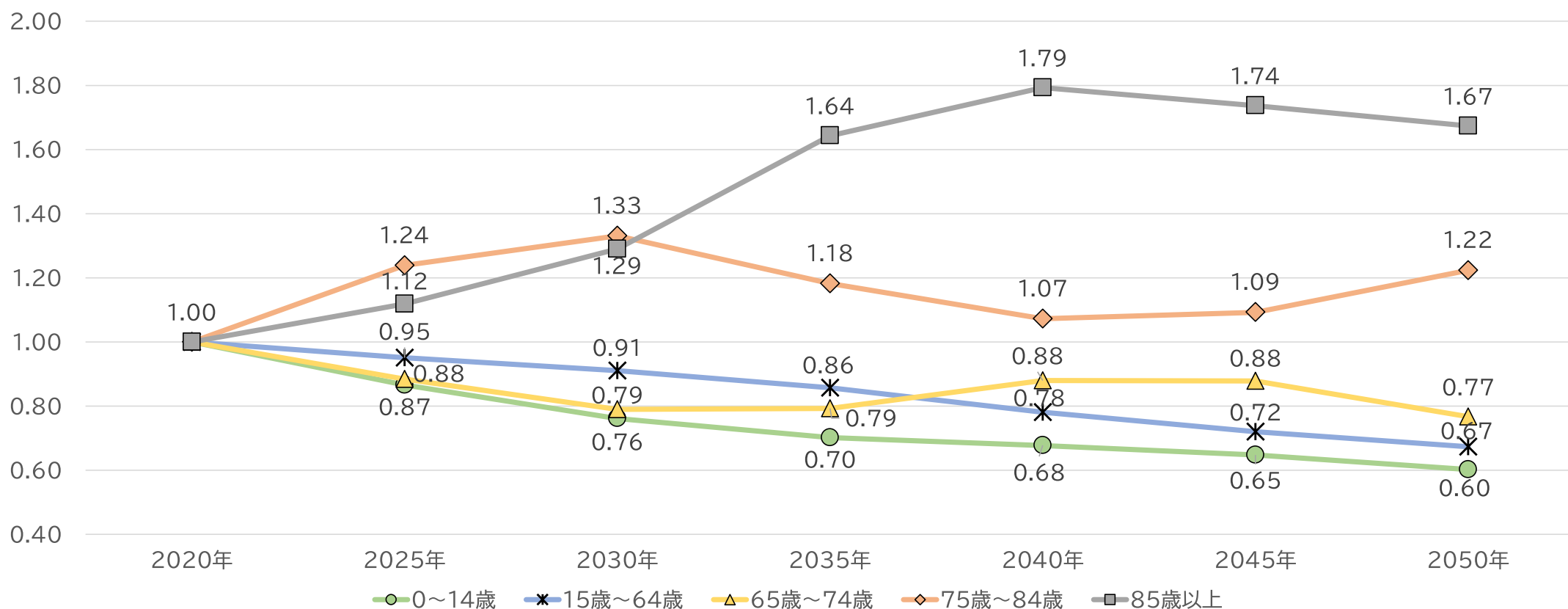


【単位:人】

(出典)国立社会保障・人口問題研究所ホームページ 15ページ

## 本県の年齢別の将来人口の増減(2020年=1とした場合)

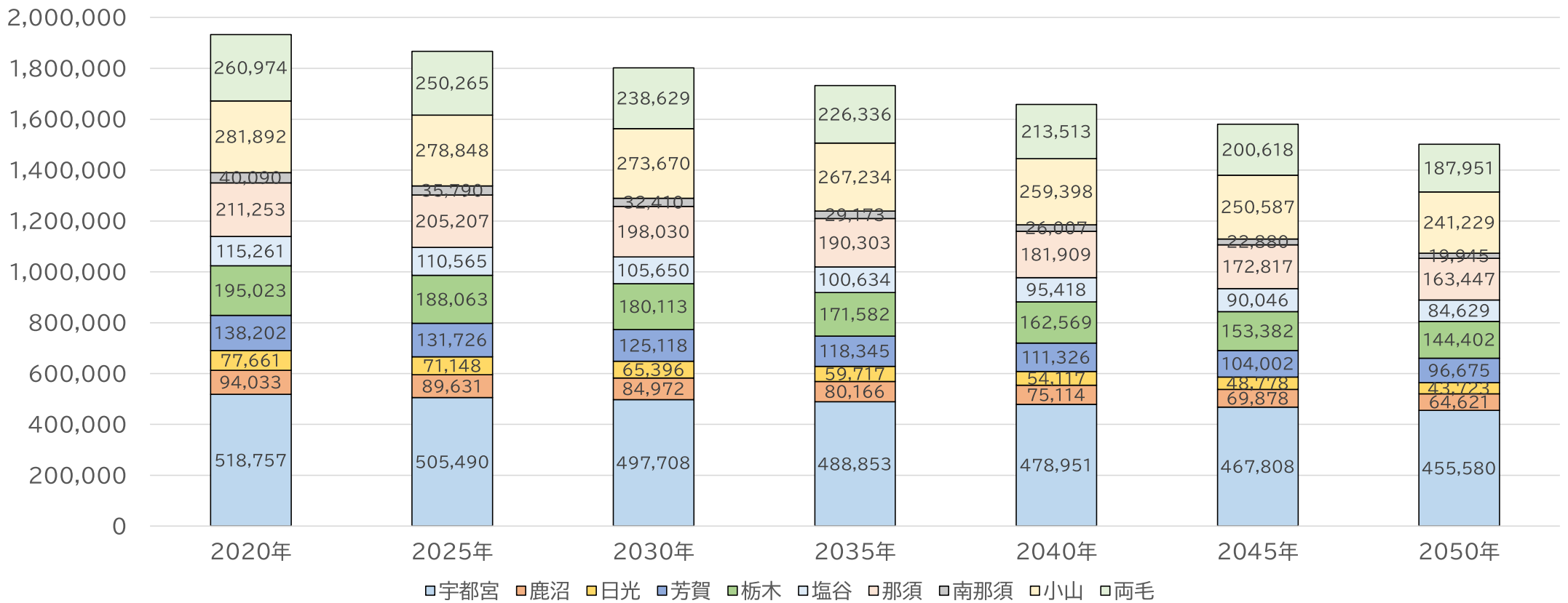
- ▶ 2020年と比較して、75歳以上の人口は増加する一方で、74歳以下の人口は徐々に減少する見込みである。
- ▶ 特に85歳以上の高齢者は、2020年と比較して、2040年には約1.8倍まで増加する見込みである。





# 救急医療圏別の将来人口の推計

➤ どの救急医療圏においても、将来人口は減少することが見込まれる。



【単位:人】

(出典)国立社会保障・人口問題研究所ホームページ 17ページ

## 救急医療圏別の将来人口の増減(2020年=1とした場合)

➤ 救急医療圏によって、将来人口の減少の程度には大きな差があることが見込まれる。

